

百均介護

開催日：2018年10月17日（水）

開催時間：19時50分～

会場：ふれあい歯科ごとう

参加者：臼井、五島、五島（登）、高木、辻、野津、清水、藤崎、堀尾、山上

〈容器包装に関する資料〉

- ▶ 包装する容器もユニバーサルデザインであるべきだ。模索していることはまだあるが。明け口マーク、表示などでわかりやすくすることが大事になっている。
- ▶ 結論的に、レトルトパウチ開けやすさは、材料構成を考えるか、表面加工が解決策になるようだ。
- ▶ 自助努力で何とか開けてもらえない…というのが現状である。

〈今日の道具紹介〉

- ▶ 「かるラク どこでもイープナー」下村工業株式会社製 定価：400円（臼井さん）⇒これにもう少し機能をつければマルチにできるのではないか。
- ▶ 100均で見つけた小さな引き出しつきケース。そこにパウチをしまい、固定させた上でカッターで切り裂きやすくなるのでは？（野津さん）
- ▶ 他に100均で見つけたタオルハンガー、
- ▶ 台所に立っての発想がないと。
- ▶ ダンボールで工作した写真たてみたいなものに防震粘着マットを貼り付け、そこにパウチをつけて、あとはハサミをつかって切る。（清水さん）
- ▶ HCRで見つけた道具：「自助具の部屋」（大阪の工房）→アイデアを提供すると作ってくれる。
- ▶ 一般社団法人発明学会
- ▶ 高齢者用のハサミ（多機能の）を考えれば良いのかもしれない。

〈感想〉

- ▶ 開けることにフォーカスされることに驚いた。でも、現場でもそれだけ困っている。現場の介護スタッフの共通認識がないといけない。

次回のテーマ

- ▶ ハサミを調べてくる（切る動作、道具）。
- ▶ 現場の声を聞いてみる

次回予定

開催日：2018年12月5日（水）

開催時間：19時30分～

場所：ふれあい歯科ごとう